



まんだらげ

vol. **24**
2013.3



道成寺と桜

CONTENTS

- TOPICS / 病院機能評価 Ver.6.0 認定取得
- 先端医療機器紹介 / 320列マルチスライスCT
- 医大の津波対策
- 連携登録医制度の現在
- 予約センターからのお知らせ

■看護師・助産師募集

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。

※募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。
または下記までお問い合わせください。

<http://www.wakayama-med.ac.jp>

公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺 811-1

電話: 073-441-0711 (事務局総務課)

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

1 患者さんとの信頼関係を大切に、安全で心のこもった医療を行います。

基本方針

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

理念

「病院機能評価」 Ver.6.0へ認定更新しました

昨年10月に公益財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価」 Ver.6.0の審査を受審し、現行の最新バージョンであるVer.6.0への認定更新をしました。

認定期間は、平成25年1月28日から平成30年1月27日までの5年間となっています。

評価は、5段階で行われますが、全項目の評点平

均が約4点と大変高い評価をいただきました。

特に救急医療機能につきましては、その体制と人員配置の面で、極めて適切に行われているという5点の最高評価を受けました。

今後とも、当院の理念・基本方針に則り、県民のみなさまからより一層信頼される病院運営に努めて参ります。

【注：評点の見方】 5:極めて適切に行われている 4:適切に行われている 3:中間 2:適切さにやや欠ける 1:適切でない

評価対象領域	評価項目数	評点				
		5	4	3	2	1
1 病院組織の運営と地域における役割	14		9	5		
2 患者の権利と医療の質および安全の確保	13		13			
3 療養環境と患者サービス	9		7	2		
4 医療提供の組織と運営	62	2	53	7		
5 医療の質と安全のためのケアプロセス	124		123	1		
6 病院運営管理の合理性	16		14	2		
7 精神科に特有な病院機能	14		14			
合計	252	2	233	17	0	0





先端医療機器紹介

320列マルチスライスCT Aquilion ONE (アクイリオン・ワン)

◆スピーディに広範囲の撮影が可能に

県内初の先端的画像診断装置「320列マルチスライスCT」を2月に導入しました。従来のCTに比べて、より高速に広範囲に、詳細な画像を撮影することが可能となりました。

脳や心臓の臓器全体が鮮明な画像に映し出されるため、機能血管系の血流や冠動脈の細部の検査に威力を発揮しています。たった1回転で撮影できるので、身体の静止状態を維持することや、息止めが困難な子供や救急患者の検査に最適です。さらに1回の造影剤注入で他部位の同時撮影や、3Dデータによる動的解析も可能になりました。

中央放射線部技師長の西奥忠純さんは「非常に高画質な画像がスピーディに得られるので、より迅速で的確な対応ができるようになりました。頭から骨盤まで、約5から6秒で全身の撮影ができます。静

音で低被ばく性にも優れていますし、何よりも患者さんの負担が軽くなったのがうれしいですね」と話しています。



災害に強い病院づくり ～津波対策について～

【対策の目的】

当院が津波発生時においても病院機能を維持するため、エネルギーセンター（このセンターは、電気や水の供給等、病院のライフラインの維持には欠かせない機能を持っています。）の浸水防止等の対策を実施します。（実施主体：和歌山県）



【災害時に果たすべきおもな役割】

- 入院患者、外来患者等の安全の確保
- 災害拠点病院としての救急患者の受け入れ

【おもな対策】

- ◆敷地への浸水を低減させるため、敷地開口部への防潮ゲートを設置します。
- ◆エネルギーセンターへの浸水を防止し、病院の電源機能及びライフラインを維持し、災害拠点病院としての機能を確保します。
- ◆エネルギーセンターと病院棟をつなぐ既存電線の高層ルートを確保します。

【スケジュール】

平成25年度から設計を行い、平成26年度中に対策工事が完成予定です。

連携登録医制度の現在

患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるように、地域の医療機関との連携を図ることを目的に、平成23年12月より連携登録医制度を開始し、1年余りが経過しました。

平成25年2月末現在の登録医数は713名(医科596名 歯科117名)にのぼり、そのうち病院勤務医が155名(46施設)、診療所等勤務医が558名(389施設)となっています。

右記のマップのように、一番多いのは和歌山医療圏で、次いで那賀、有田医



連携登録医名の院内掲示

療圏となっており、また田辺、新宮医療圏や泉南地域の先生方にもご登録いただいています。



予約センターからのお知らせ ~診察予約のご案内(初めて受診される方)~

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただきます。ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて地域連携室にFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

地域連携室

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月~金 9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※毎週金曜日は試行的に18:00まで受付しています。

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 当院予約センターに直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月~金 8:30~16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:30~17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ <vol.24>

2013年3月発行

発行/和歌山県立医科大学附属病院
〒641-8510和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】 <http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

外来受付時間

- ・受付時間 午前8時50分~午前11時30分
- ・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- ・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)

次号発行は
6月です。

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。